

音楽科学習指導案

- 1 日時 平成29年11月 16日(木) 5校時
- 2 学年・クラス 第3学年 26名 (男子13名 女子13名)
- 3 題材名 謡の鑑賞や歌唱を通して、能の音楽のよさを味わおう
- 4 題材について

(1) 題材観

本題材は、能「羽衣」の謡を中心教材として、表現と鑑賞を関連付けたものである。学習指導要領の、A表現(1)イ「曲種に応じた発声や言葉の特性を理解して、それらを生かして歌うこと。」と、B鑑賞(1)イ「音楽の特徴をその背景となる文化・歴史や他の芸術と関連付けて理解して、鑑賞すること」、[共通事項]のうち音色、リズム、旋律、テクニクなど扱う。

A表現では、「羽衣」の謡を謡う体験を通して、謡にふさわしい声の出し方、言葉の抑揚、節回し、身体の使い方、リズムなどを理解し、それらを生かして表現する能力を育てることをねらいとしている。B鑑賞においては我が国の伝統的な芸能の1つである能の音楽の特徴をその背景となる歴史や、言葉や舞と関連付けながら鑑賞する能力を高めることをねらいとしている。

本題材では能「羽衣」の謡の中から特に「東遊びの数々に～」を取り上げる。この部分は「羽衣」のキリの謡で、舞とともに演じられる曲である。歌詞の内容や情景を、舞や音楽で表現されており、謡の節回しや大ノリのリズムなどの特徴を感じ取りやすい。

本題材の学習は我が国の伝統的な歌唱の特徴や趣を味わい、我が国の音楽文化に対する理解を深め、尊重する態度を養うことにつながると期待できる。

(2) 生徒観

我が国の伝統的な歌唱に関する事前アンケートでは、我が国の伝統的な歌唱に関するものに能、歌舞伎、落語、文楽、狂言、神楽などをあげ、その声や唄い方に対して「庶民の文化が反映していて親しみやすい」「かっこいい」「日本人だからこそ生み出せたので、もっと知りたい」と肯定的な言葉が多く書かれていた。その要因として、2学年時に総合的な学習の時間で国際交流を行った際、ALTの方に能のプレゼンテーションを行ったことが挙げられる。また、その学習に合わせて、音楽科では実際に謡を少し体験した。また、長唄を唄う学習も行っており、これらのことが関係していると思われる。

しかし、歌い方が難しいと感じ、伝統的な歌唱に対して抵抗を感じている生徒や、消極的な生徒もいる。

「能など日本の伝統芸能の本物を見たいか」という問いには75%の生徒が「見てみたい」と回答している。

【日本の伝統的な歌唱に関する事前アンケート結果(26人中)】

(問) 日本の伝統的な歌唱といえば、思い浮かべるものは何ですか。思いつくだけ

書いてください。 能・・19人 神楽・・15人 歌舞伎・・19人 狂言・・18人
民謡・・5人 落語・・5人 仏教の経・・2人

(問) 日本の伝統的な歌唱について、あなたが思うところを自由に書いてください。

・歌い方の特徴を捉えた記述(ゆっくり・一文字一文字が長い・音の高低があまりない)11人

・声の音色に関するもの(力強い・腹から出した声・低めの声)6人

・プラスイメージでとらえた記述(受け継いで次へ伝えていくべきもの・趣がある・味わいがある・落ち着く)6人

・マイナスイメージでとらえた記述(難しいそう)3人

(3) 指導観

今年度は喜多流能楽師大島衣恵氏からゲストティーチャーとしてご指導いただける機会を得た。音楽科授業の指導では、ワークシートやDVDや喜多流の謡本を効果的に活用したい。

B鑑賞では、音楽の授業に先駆けて国語科で古典文学から、社会科では文化史から能について学習するので、それと関連付けて学習課題を持たせて能の音楽を味わわせたい。2

年生の時に学習したシテ(天人)とワキ(白龍)のやりとりの謡とキリの謡の特徴の違いを感じ取らせ、A表現につなげたい。

A表現では謡本(縦譜)に触れさせ、能楽師たちが脈々と伝承させてきた伝統文化を感じ取らせ、その音楽の豊かさに気付かせたい。そして、伝統文化を尊重し、伝統文化から主体的に学び、表現しようとする態度を育てたい。縦譜のゴマ点を読み取ったり、指導者の謡やDVDから聴き取ったりして謡い方を知覚させ、さらに舞姿や情景を思い浮かべながら、どのような謡い方がよいか思いや意図をもたせ、音楽表現を工夫させる。また、謡うときの構えや扇の持ち方、歩き方、座り方など形から迫る学び方も体験させたい。構え等を習得することで、表現の技術につなげたり、表現しようとする意欲を高めたりすることができる。と考える。

学習の最後は学級全体で仕舞の地謡をイメージし、優雅で力強い謡の表現をめざす。

5 題材の目標と評価規準

(1) 題材の目標

○能の謡の特徴に興味関心をもち、音色、節回し、リズムを知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、意欲的に謡を歌唱したり鑑賞したりする。

(2) 題材の評価規準

ア 音楽への 関心・意欲・態度	イ 音楽表現の 創意工夫	ウ 音楽表現の技能	エ 鑑賞の能力
①謡にふさわしい声や言葉の特性に関心をもち、それらを生かして謡う学習に主体的に取り組もうとしている。(歌唱) ②謡の音色、節回し、リズムと言葉との関わりなど、謡の特徴をその背景となる能の文化・歴史や物語の場面や舞などとの関連に関心をもち、鑑賞する学習に主体的に取り組もうとしている。(鑑賞)	①謡の音色、節回し、リズムを知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、能にふさわしい声や言葉の特性を理解して、それらを生かした音楽表現を工夫し、どのように謡うかについて思いや意図をもっている。	①謡にふさわしい声や言葉の特性を生かした音楽表現をするために必要な、発声、言葉の発音体の使い方などの技能を身に付けて謡っている。	①謡の音色、節回し、リズムと言葉の関わりなど、謡の特徴をその背景となる能の文化・歴史や物語の場面や舞などと関連付けて理解し、能の音楽のよさを味わって聴いている。

6 指導と評価の計画（全7時間）本時は 6 / 7

次	時	◇ねらい ○学習内容	評 価					
			関	創	技	鑑	評価規準	評価方法
		<p>【学校行事】 PTA 講演会で能楽師大島衣恵さんの話や謡を聴く。その際、大島さんから、「中学生が能に親しんでくれることはとてもうれしい。次に来るときには、皆さんの謡に合わせて舞をしたい。それまでに謡の学習をしてくれませんか。」という依頼をもらう。</p>						
1	1	<p>課題の設定</p> <p>◇大島さんからの依頼を受け、謡にふさわしい発声、言葉の特性に関心を持ち、それらを生かして主体的に謡う学習に取り組む。</p> <p>○大島さんの謡を聴いて感じたことを交流し、どのような謡にしたらよいか考え、課題を設定する。</p> <p>大島さんに舞ってもらえるような謡を謡おう。</p> <p>情報の収集</p> <p>○能「羽衣」を聴き、感じたことやイメージしたことを交流する。</p> <p>○仕舞「羽衣」の冒頭部分を謡い、抑揚の付け方、歌詞の読み方などを知る。</p>	○				ア①	ワークシート 行動観察
	2	<p>情報の収集</p> <p>○謡の姿勢(扇の持ち方)と発声について知る。</p> <p>○仕舞「羽衣」にふさわしい発声と言葉の発音や身体の使い方などDVDを参考に模倣して謡う。</p>	○				ア①	ワークシート 行動観察 ノート
2	3	<p>情報の収集</p> <p>◇謡にふさわしい声や言葉の特性をいかして音楽表現を工夫し、どのように謡うかについて思いや意図をもつ。</p> <p>○「東遊びの」～最後まで謡について、ふさわしい声、言葉の特性や大ノリの特性を知り、どのように謡ったらよいかを考える。</p> <p>○「東遊びの」～最後まで謡について、ふさわしい声、言葉の特性や大ノリの特性を生かして工夫して謡う。</p>		○			イ①	行動観察 ワークシート ノート

2	4	<div data-bbox="352 208 528 264" style="border: 1px solid black; padding: 2px;">整理分析</div> <p>★GT大島さんから学ぶ ◇自分たちが練習した謡を大島さんに聴いてもらい、謡の謡い方について追求する。 ○これまでの学習の成果を発表する。 ○大島さんからアドバイスを生かし、仕舞「羽衣」にふさわしい発声と言葉の発音や身体の使用方などを追求して謡う。 ○さらに謡を上達させるために、大島さんのアドバイスを参考に表現の仕方を考える。</p> <div data-bbox="360 741 826 891" style="border: 1px solid black; padding: 2px;">さらに良い謡にするには、能についての理解を深めたり、味わったりすることも大切です。他の場面と比較して鑑賞してみてください。</div>		○			ウ①	発表聴取
3	5	<div data-bbox="352 925 528 981" style="border: 1px solid black; padding: 2px;">課題の設定</div> <p>◇大島さんからのアドバイスを受け、謡の特徴をその背景となる文化・歴史と関連付けて理解し、能音楽のよさを味わう。 ○能について知っていること（他教科で学んだことなど）や知りたいことを出し合う。</p> <div data-bbox="360 1261 826 1388" style="border: 1px solid black; padding: 2px;">情景や場面が伝わるような謡ができるよう、能についてくわしく知り、謡に生かそう。</div> <div data-bbox="360 1413 528 1469" style="border: 1px solid black; padding: 2px;">情報の収集</div> <p>○疑問に思ったことや知っていることについて交流する(国語科, 社会科との関連)。 ○能「羽衣」の天人と白龍のやりとりの場面と、東遊びの場面を比較して視聴し、気づきを交流する。 ○能の歴史や文化の背景が謡にどのように関連しているか考える。 ○今日の学習を生かして、どうしたら情景や場面が伝わるような謡なるか課題を出し合う。</p>	○		○		ア② エ①	行動観察 ノート

7 本時について

(1) 本時の目標

鑑賞で学習したことを自分たちの謡にどのように生かせるか考え、謡にふさわしい声や言葉の特性を生かした音楽表現をするために必要な、発声、言葉の発音の使い方など創意工夫したことを生かし、謡いらしく謡う技能を身に付けている。

(2) 学習の展開

学習過程	具体的な学習活動	指導上の留意点 (■個に応じた指導の工夫)	評価規準 (評価方法)
1 導入	<ul style="list-style-type: none"> ○これまでの学習を生かして謡「羽衣」を連吟する。 ○本時の学習日程を確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・構えや発声を確認させる。 	
<p>鑑賞で学習したことを生かし、情景や場面が伝わるような地謡に仕上げる。</p>			
2 課題設定	<ul style="list-style-type: none"> ○前時の学習から学習課題を確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・前時の振り返りで書かれていた内容から、学習課題を確認する。 	
<p>学習課題 (期待する生徒の発言)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○能舞台は元々屋外に作られていたから、地声で力強い声で謡われていたので、そこを意識して謡う [音色] ○「羽衣」は旋律がなめらかな「和吟」の曲なので、抑揚(節回し)をしっかりつけて謡う [旋律] ○大ノリのリズムに乗って謡う [リズム] ○舞の動きを意識して速さの変化も工夫して謡う [速度] ○扇の持ち方や構え方を美しく堂々とする 			
3 課題解決活動	<ul style="list-style-type: none"> ○課題を意識して班で練習する。 [活動ポイント] ・音色 (発声) ・節回し (言葉と抑揚) ・リズム (大ノリ) ・速度の変化 ・美しい所作と構え 	<ul style="list-style-type: none"> ・活動ポイントや謡い方をボードに書かせ、確認しやすいようにする。 ■謡い方の不安箇所を教師が範唱して示す。 	<p>イ① 行動観察</p>
<p>期待する生徒の行動や発言</p> <ul style="list-style-type: none"> ・声の出し方、姿勢、所作について教えあう。 ・リーダーが手拍子でリズムをとりながら謡う。 ・曲の終わりに向かって速度をもう少し上げてみよう。 ・語尾を柔らかく上げて謡うところや出だしが上がるころなど、抑揚(節回し)について教え合う。 			
<ul style="list-style-type: none"> ○大島衣恵さんからアドバイスをいただく。 			

4 まとめ 振り返り	<p>○アドバイスを生かすため、再度謡い方の工夫を考える。</p>		ウ① 演奏聴取
	<p>期待される生徒の発言</p> <ul style="list-style-type: none"> ・息を遠くに飛ばすようにして、力強い声で謡う。 ・言葉の内容や情景を味わいながら、強弱や速度に生かして謡う。 ・美しい姿勢で堂々と謡う。 ・舞の動きを感じながら謡おう。 		
	<p>○大島衣恵さんの舞，クラス全員での地謡で仕舞「羽衣」を演じる。</p> <p>○大島衣恵さんから講評をいただく。</p> <p>○ノートに振り返り，学習の成果を記述する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・本日の課題でできたところ，よかったところを中心に振り返らせ，我が国の伝統文化を尊重する気持ちを持たせる。 	
<p>期待される生徒の記述</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大島さんの舞の動きを感じながら，力強い声で謡うことができた。 ・言葉の内容や情景を思い浮かべながら，強弱や速度の変化をつけて謡うことができた。 ・大島さんの舞に合わせて美しい姿勢で堂々と謡うことができた。 ・抑揚やリズムの特徴を生かして謡い舞と合わせることができた。 ・大島さんの舞に合わせて謡い，仕舞「羽衣」にふさわしく厳かで華やかな表現に近づくことができた。 			